

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局道路建設課  
担当課長名：松浦利之

事業名	市道 <small>こくぜいちょうにしがわ</small> 国税庁西側線	事業区分	地方道	事業主体	沖縄市												
起終点	自：沖縄県沖縄市美里 至：沖縄県沖縄市古謝			延長	1.6km												
事業概要																	
市道国税庁西側線は、本市の美里を起点として古謝を終点とする延長約2kmの2車線道路である。当道路は流通の拠点として整備の進む中城湾港新港地区への円滑な交通を確保し、産業振興および経済活動に寄与するとともに、新市街地の道路網を形成し地域の活性化に資することを目的とする。																	
H7年度事業化	年度都市計画決定	H8年度用地着手	H13年度工事着手														
全体事業費	44億円	事業進捗率	42%	供用済延長	0.0km												
計画交通量	4,300 台/日																
費用対効果分析結果	B/C: (事業全体) 2.1 (事業) 3.3	総費用: (事業)/(事業全体) 27/44億円 事業費: 27/44億円 維持管理費: 0/0億円	総便益: (事業)/(事業全体) 91/91億円 走行時間短縮便益: 83/83億円 走行経費減少便益: 7/7億円 交通事故減少便益: 1/1億円	基準年 平成16年													
事業の効果等																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流効率化の支援（重要港湾へのアクセス向上が見込まれる）</li> <li>・都市の再生（区画整理の沿道まちづくりとの連携あり）</li> </ul> <p style="text-align: right;">他1項目に該当</p>																	
関係する地方公共団体等の意見																	
地元自治会から早期の道路整備の要望を受けている。 (平成16年7月 美里自治会、平成16年10月 海邦町自治会)																	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等																	
泡瀬地域の中城湾港新港地区の工業地区180haが埋立完了し、企業誘致も始まるとともに、平成11年度には新港地区の一部122haが特別自由貿易地域に指定されている。また、道路に隣接する海邦町地区・美里・美里第二地区は土地区画整理事業により新市街地も形成されつつある状況である。																	
事業の進捗状況、残事業の内容等																	
事業は用地・物件補償を先行して実施し、42%の進捗となっており、工事は道路部L=1,252m、橋梁部L=335mが残されている。																	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等																	
事業当初は用地買収や物件補償の難航により時間を要していた。最近、地権者の土地に対する認識も変わってきており、用地交渉が順調に進展するようになってきている。今後、工事も平行して着手し、平成21年度までに供用開始する予定である。																	
施設の構造や工法の変更等																	
最新の道路構造令を考慮し、道路幅員の見直しにより用地費、工事費を縮減するとともに、橋梁に新工法を検討することによりコスト圧縮を図っている。																	
対応方針	事業継続																
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案し、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、事業を継続する。																
事業概要図																	
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td>供用中</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>事業中</td> <td>●●●●●●●●</td> </tr> <tr> <td>再評価対象事業</td> <td>▨▨▨▨▨▨▨▨</td> </tr> <tr> <td>うち供用中</td> <td>▨▨▨▨▨▨▨▨</td> </tr> <tr> <td>調査中</td> <td>○○○○○○○○○○</td> </tr> </table>		凡 例		供用中	—————	事業中	●●●●●●●●	再評価対象事業	▨▨▨▨▨▨▨▨	うち供用中	▨▨▨▨▨▨▨▨	調査中	○○○○○○○○○○				
凡 例																	
供用中	—————																
事業中	●●●●●●●●																
再評価対象事業	▨▨▨▨▨▨▨▨																
うち供用中	▨▨▨▨▨▨▨▨																
調査中	○○○○○○○○○○																

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。